

研修員×民間企業等「共創」セミナー(対面型)

[農業共創ハブ](#)では、以下のとおり、研修員×民間企業等「共創」セミナーを企画しております。ご関心ございましたら、以下 **3. お申込方法**よりご回答くださいませ。

1. 背景・目的

- (1) 民間企業・団体等の農業分野における製品・技術を紹介し、研修員の学びとする。
- (2) 民間企業・団体等の海外展開に向けた情報収集・意見交換(共創)の場とする。
- (3) 関係者間でネットワークを構築する。

2. 概要1. 日時:

10月22日(土) 13:00~17:00

2. 場所:

JICA 筑波(<https://www.jica.go.jp/tsukuba/office/access.html>)

3. 参加者: ※案内先

- (1) JICA 筑波所管 課題別研修員

| コース名 | 国名 | 案件要旨 |
|--------------------------|--|---|
| 稲作技術向上(普及員)(A) | エチオピア、ケニア、リベリア、マラウイ、フィリピン、シエラレオネ、スーダン、ウガンダ | 稲作の栽培技術の普及に携わっている組織の技術者を主な対象とし、日本の技術や経験をベースとして、水稲を中心とした基礎的な稲作栽培技術、普及手法、栽培試験手法を学ぶ。 |
| 稲作技術向上(普及員)(B) | カメルーン、コートジボワール、ギニア、ギニアビサウ | ※上記(A)コースと類似研修を仏語で実施 |
| 天水稲作のための稲栽培・種子生産及び品種選定技術 | ブルンジ、カメルーン、エチオピア、ガーナ、リベリア、モザンビーク、タンザニア、ウガンダ、ザンビア | 陸稲の栽培、種子生産、及び品種選定技術を基礎から学び、各地域に適した品種の種子を適切に生産・保存し、普及できる知識及び技 |

| | | |
|-----------------------------|--|---|
| | | 術をもった人材の育成を目指す。 |
| 家畜疾病診断基礎技術向上 | カンボジア、ベトナム、パレスチナ、ナミビア、ナイジェリア、ウガンダ、南スーダン | 研修員が自国における家畜疾病(人獣共通感染症や生産病含む)をめぐる情勢と課題を抽出・分析し、疾病対策の基本的な考え方を理解すると共に、基礎的な感染患者の早期摘発技術や、病原体の適正な各種鑑別技術、各種データ収集と解析、並びに適正な治療・淘汰対応について習得する。 |
| 国家測量事業計画・管理 | タイ、バングラデシュ、ネパール、スリランカ、トンガ、エチオピア、ジンバブエ、アルメニア、キルギス | 開発途上国において、国家測量・地図作成機関が信頼できる地理空間情報を適切に提供できるよう、地図の作成・更新・利活用等の地理空間情報全般に関する総合的な事業計画及び管理を担う中核的人材を養成する。 |
| 仏語圏/英語圏アフリカ向け参加型灌漑施設運営管理(A) | エチオピア、ガンビア、マラウイ、ウガンダ、ジンバブエ | 灌漑分野の資金協力・技術協力を今後注力すべきアフリカ圏を対象として、日本の土地改良区がモデルとなる「参加型灌漑施設運営管理」について研修を行うことで、農民参加型の灌漑施設における運営・管理に関する知識とそれらを応用できる能力の向上を目指す。 |
| 洪水防災 | フィリピン、東ティモール、ブータン、パキスタン、スリランカ、チュニジア | 洪水災害が多発する国において、洪水災害のリスク軽減ができる能力を持つ人材を育成することを目的とする。 |
| 地震学・耐震工学・津波防災 | インドネシア、フィリピン、ブータン、インド、フィジー、エジプト、コモロ | 住民の生命や住宅・社会資本を瞬時に破壊する地震や津波は、途上国の脆弱性を |

| | | |
|--|--|---|
| | | <p>高める大きな要因であり、これら自然災害の被害軽減へ向けた対策は途上国にとって喫緊の課題である。本研修は、地震・津波防災及び復興政策に寄与できる中核的研究者・技術者・行政官を養成することを目的とする。研修員は、地震・津波防災分野で豊富な経験を持つ日本において、地震学・耐震工学・津波防災に関する高度かつ最新の知識・技術を体系的に習得する。</p> |
|--|--|---|

(2) 農業系を中心とした JICA 留学生(および知人留学生)

- ✓ 政府機関や農学系大学・研究機関等で、農業分野(水産・畜産も含む)に従事する行政官、研究者等
- ✓ 東京農工大学、九州大学、帯広畜産大学、筑波大学、名古屋大学、鹿児島大学、東京大学、鳥取大学、山形大学、東京農業大学などに所属
- ✓ 出身地域は大洋州・東南アジア(35%)とアフリカ(29%)がほとんどを占める。上位10か国はベトナム、エジプト、ケニア、インドネシア、カンボジア、ブータン、ウズベキスタン、ガーナ、スーダン、ブルキナファソ

(3) JICA 専門家／海外協力隊／研修委託先／JICA 職員等

4. 出展者:

民間企業・団体等

5. プログラム(予定):

- 以下のとおり、個別ブースでの意見交換を主としたプログラムを予定しております。

| | |
|-------------|---|
| 午前中 | 展示準備、昼食 |
| 13:00~13:15 | <p>オープニング・全体説明</p> <p>※2022年6月に実施した出展者様の発表(ピッチ)は実施いたしません。</p> |
| 13:20~15:00 | <p>出展者様の数のグループに参加者を分け、15分(移動5分、発表10分予定)ごとに巡回する形で製品の紹介・交流</p> <p>*全参加者が全ブースを巡回できるよう調整予定です。</p> |
| 15:00~16:30 | 個別ブースでの意見交換会 |

| | |
|--|---|
| | <p>※ 逐次通訳は行わず、出展者様にご対応いただく予定です。</p> <p>※ 出展者様と関心ある参加者が個別に交流・議論できる時間を設定する予定です。</p> |
|--|---|

3. お申込方法

上記内容でご参加いただけます場合、9月28日(水)中に、以下 URL より、お申し込みくださいませ。

[【申込フォーム】 研修員×民間企業等 「共創」セミナー \(2022 年度第2回 10/22\) \(office.com\)](#)

4. ご連絡事項

(1) 当日、持参いただけると良いもの

もしございましたら、以下、ぜひご準備いただければと存じます。

- ・ 製品・技術の紹介動画
- ・ 展示パネル(データをいただければ、当方にて、A0 など印刷可です)
- ・ パンフレット、チラシ
- ・ アンケート用紙(セミナー全体のアンケートは JICA 筑波で収集いたしますが、もし個別の内容(製品・技術、現地事情等)でアンケートご希望でしたら、ぜひご準備いただき、個別ブースで配布ください。)
- ・ 名刺など

(2) 録画・撮影

当日の様子を録画・撮影し、後日、SNS 等で配信させていただく予定です。もし録画・撮影、SNS 等での配信が不可の場合は、ご遠慮なくお知らせください。

(3) PR シート

後日、各企業・団体様に、1 枚ほどの簡単な PR シートをご作成いただきたく、改めてご連絡いたします。(事前に参加者に配布し、各ブースでの展示内容等、ご覧いただく予定です。)

(4) 研修員情報

事前に、当日参加の研修員情報(所属先、連絡先等)をご共有いたします。共創セミナーの場に限らず、直接、連絡を取り、情報収集・意見交換等を行っていただければと存じます。

(5) 出展にかかる費用

出展料金はいただきませんが、製品の運送費や人件費、上記(1)のご準備に係る費用などは、出展者にご負担いただきます。

5. お問い合わせ先

ご不明点等ございましたら、いつでも以下までご連絡くださいませ。

JICA 筑波 研修業務課 武田 翔吾

Takeda.Shogo@jica.go.jp

6. ご参考

2021 年度に 2 回、2022 年度に 1 回類似のセミナーを開催いたしました。

セミナーの様子など、以下サイトをご覧ください。

[研修員×民間企業「共創」セミナーを開催しました！ | JICA 筑波 - JICA](#)

[留学生×民間企業「共創」セミナーを開催しました！ | JICA 筑波 - JICA](#)

[留学生との「共創」セミナーを開催しました！ | JICA 筑波 - JICA](#)

皆さまのご参加、心よりお待ちしております。

以上